

インフォメーション

申込み・問い合わせ：仙台市市民活動サポートセンター
TEL 022-212-3010 / FAX 022-268-4042 Mail sendai@sapo-sen.jp

はじめての市民活動を応援します「はじめてのミニイベント」

日時:2018年5月19日(土)
「企画運営基礎編」10:00~11:00
「イベント広報編」11:10~12:30
内容:市民活動初心者の皆さんを対象に、ミニイベント(※)の企画から当日までの流れと、個人ワークを取り入れながら広報の基本を学べる講座を開催します。どちらか一方だけでも、両方でも受講可能です。
※ミニイベント:講演会や研修会、交流会、活動体験会など、外部の人の参加も想定される定員数名~100名、予算10万円未満の企画。
会場:仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール
定員:各15名(先着順)
対象:これから活動を始めようと考えている方
アイデアを実行に移せずにいる方
新しく団体・グループを立ち上げた方
新たなイベントを計画中の市民活動団体・NPO法人
手さぐりで活動していて、企画実施や広報に不安のある市民活動団体・NPO法人など
参加費:無料



サポセン館内ガイドツアー

日時:2018年5月19日(土)13:30~
所用時間:45分~60分程度
集合場所:仙台市市民活動サポートセンター 1Fマチノワひろば
定員:10名(最少催行人数1名)
参加費:無料(事前申込不要)
「サポセンってどんなところなの?」「どんなサービスがあって、どんな風に見えるの?」サポセン活用法をスタッフがご案内します。



仙台市から

「協働まちづくりの実践」
「協働まちづくりの手引き」を作成しました

多様な方々の参加による協働のまちづくりを推進していくため、市内で協働で行われているまちづくりの事例を紹介する冊子「協働まちづくりの実践」を、学生や社会人などの市民ライターやNPOとともに作成しました。あわせて、協働の考え方や進め方をまとめた「協働まちづくりの手引き」も作成しました。仙台市市民協働推進課及び仙台市市民活動サポートセンターで配布するほか、市ホームページでもご覧いただけます。

問い合わせ
仙台市市民局市民協働推進課
TEL 022-214-8002



つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。

ご相談ください

ボランティア活動をしたい/団体を立ち上げたい/組織運営の悩みを解決したい/他の団体や他のセクターと連携したい/自分のスキルを地域や社会に役立てたい...

今月の休館日 5月9日(水)、23日(水)

開館時間 月曜日~土曜日 9:00-22:00
日曜日・祝日 9:00-18:00
休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日)年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042
地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ/地下鉄東西線「青葉通一番町駅」北1番出口から徒歩6分
[HP]http://www.sapo-sen.jp [Blog]http://blog.canpan.info/fukkou/ [Twitter]@sensapo

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行っています。[指定管理期間2015年4月1日~2020年3月31日]

市民ライターや学生記者が、仙台の市民活動団体やワクワクビトを取材しています!

▶市民ライター
http://blog.canpan.info/fukkou/category_23/1
▶情報ボランティア@仙台
https://ja-jp.facebook.com/jyoho.volunteer.sendai

▶「ぱれっと」バックナンバーはホームページからダウンロードできます。
▶ぱれっとに関するご意見をお寄せください。

[ぱれっと読者アンケート]サポセンホームページからアクセス
いただくか、携帯電話等で2次元バーコードを読み取ってご利用ください。



発行 仙台市市民活動サポートセンター
発行日 2018年5月1日
編集 特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター
デザイン PEACE Inc.
編集人 太田貴 菅野祥子 松村翔子 宮崎真央 嶋村威臣
発行部数 3000部
配布場所 市内公共施設や行政窓口、市内一部店舗、市内外の支援施設

ぱれっと 5

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと 2018 No.225

「ぱれっと」には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。

今月の
ワクワク
ビト

アーティスト/社会福祉士/介護福祉士
いし がき たすく
石垣 翼 さん (32)

社会福祉士、介護福祉士
として音楽と向き合う

「歌でも介護でもたくさんの人を幸せにしたい」南光台デイサービスセンターの副管理者として働く石垣さんは、「人の為」をモットーに地域に貢献する音楽活動を行うアーティストです。「人の心に寄り添う福祉の仕事が自分に合っている、音楽活動と介護の仕事、2足のわらじを貫くのが自分ならではのスタイルです」と活動に懸ける思いを語ります。

ギターを始めたのは中学生の時。音楽を続ける中で、大好きだった祖父の死が高齢者の介護を考え学ばせかけでした。介護施設へ就職した後に東日本大震災を経験。「なにかしなくては」という思いから、歌で人々を元気にしようと曲をつくり、被災地で歌いました。曲を聞いた人々から多くの感謝を受けて、歌の持つ力に気づきます。音楽活動を地域貢献のボランティアへも広がっていきました。

「自分の出来る事で人を助け続けたい」音楽、福祉の両方で力を発揮し、地域貢献の為活動をつづけていきます。

取材・文 市民ライター 阿部えりこ

翼tasku

HP http://goodspeed-web.jp/tasku/ ブログ http://tasku.lblog.jp/

翼taskuさんは、府町出身。東北福祉大学卒業後、介護施設で働きながら音楽活動を続けています。石窯パン工房ばーすで広報大使や、地域の万引き防止応援ソングやCMソング作り、ライブ演奏、講演など幅広く活躍しています。名前の「翼」の漢字は、大空へ自由に羽ばたく、人を助けるという2つの意味があるといえます。ボランティア活動、ライブスケジュールについてはオフィシャルブログで発信しています。

特集

つながり、支え合いながら

暮らせる地域を自分たちでつくる

つながり、支え合いながら 暮らせる地域を自分たちでつくる

仙台市泉区の高台にある向陽台団地は、昭和40年代に開発された住宅地です。当時住み始めた働き盛りの世代も年を重ね、高齢化率は31%になっています。けれど、年を重ねたからこそ経験、特技があり、困っている人や地域の力になりたいという人もいます。それぞれができることを持ち寄り、住み慣れた地域で支え合って豊かな心で暮らしていきたいと住民が自ら互助団体を立ち上げ、活動する様子を紹介します。

支え合おうとする地域の取り組みを応援したい

いずみの杜診療所 地域連携室
あさくら けいこ
浅倉 恵子 さん
(元 向陽台地域包括支援センター 所長)
※2018年4月1日付で異動
写真前列左端



地域の人同士が
つながり支え合う
地域にしたい

向陽台ささえ愛の会 会長
えち ご ゆきお
越後 征男 さん
写真後列中央

週1回のおたのしみ

水曜日、午前9時半頃になると、向陽台団地の中にある向陽台4丁目南公園に「向陽台ささえ愛の会(以下、ささえ愛の会)」のメンバーがだんだんと集まってきます。「〇〇さんはこれ上手だから頼んだよ」などと声をかけ合いながら、机や椅子を並べ、テントを建てて…と、手際よく準備を進めています。

やがて、明るいメロディを流しながらフードマーケットフジサキの移動販売車「クルリン号」がやってきます。営業時間は、11時から12時までです。近隣の住民が公園にやってきて買い物し、隣のささえ愛の会のテントで開かれているサロンに寄ってお茶とお菓子とおしゃべりを楽しめます。買い物に来た人は「近いお店まで、バスで往復1時間はかかるの。ここなら近いし、ちょっと休むこともできる。みんなとおしゃべりもできるしね」と、便利さだけでなく、魅力を明かします。

「向陽台地域包括支援センター(以下、包括支援センター)」のスタッフもささえ愛の会と一緒に準備から後片付けまで参加しています。ささえ愛の会のメンバーやサロンに立ち寄った人と談笑しながら、人々をつなぎます。

お互いに支え合いながら安心して暮らせる地域を目指して

向陽台にあったスーパーが無くなったのは、10年程前。「お年寄りにはネット注文はなじみがないし、“自分の目で見て、手に取って、選ぶ”って大事」と、同じ地域住民だからこそ思いから、ささえ愛の会が買い物支援事業としてクルリン号を誘致したのは、2017年7月。それから毎週水曜日、毎回30～35人程度が利用しています。

ささえ愛の会は2017年1月に結成。草刈りや病院のつきそい、ゴミ出し、話し相手など地域住民の生活を地域住民同士で支え合います。団体設立のきっかけとなったのは2016年6月に包括支援センターが開催した、地域でのつながりづくりを主題とする講演会。ささえ愛の会会長の越後征男さんは「施設などにまかせっきりにするのではなく、やはり地域の中で支え合うことが必要だと思った」という気づきから、住民有志で話し合いを重ねました。さらに町内会や社会福祉協議会など、地域の団体とも会議を開催。仲間づくりにおいては、特に福祉活動に熱心な人などの情報を持つ包括支援センターの協力は大きいものでした。当時包括支援センター所長を務めていた浅倉恵子さんは「地域のために活動しているみなさんの熱意がすごいです。私たちはそれを応援しているだけ」と、黒子の姿勢を賞賛します。

また、支え合い活動について、地域住民からも意見を聞くため、全



連絡先 向陽台地域包括支援センター TEL 022-343-1512 FAX 022-343-1513
向陽台ささえ愛の会 TEL 022-375-3709 (越後)

戸アンケートを実施。約半数から回答があり、「自分ができることで役にたたい」と、98%から賛同を得ました。「たとえ体が不自由であっても、話を聞くことはできる。それぞれの得意分野やできることを持ち寄って支え合えばいい」とささえ愛の会副会長の押野孔一さん。

今よりもさらに良いまち、楽しいコミュニティに

サロンの準備や片付けの時間はささえ愛の会のミーティングにもなり、地域の人のおしゃべりは次の企画の参考になっています。「今度は“歩く会”はどう?」「俺、歴史の説明してもいいよ」「桜が咲いたらお花見しませんか?」テントの下で、楽しいおしゃべりが途切れることはありません。

「きょうよう(今日、用)・きょういく(今日、行く)がある」というのが大事だと思っているんです。水曜日はクルリン号が来る、今度は草刈りがある、という、生活にはりあいが出ます」と越後さん。「また何か新しいことをやりたいね」と、活動をさらに発展させようと意欲的です。(取材・文 菅野祥子)

エコラの日々と仲間たち

1991年から仙台で活動する環境NPO「ACT53仙台」のメンバーが紡ぐ環境エッセー集。メンバーそれぞれが暮らしの中で感じたこと、考えたこと、実践していることがありのままに書かれていて、グリーンコンシューマー(環境に配慮した生活者)としてのACT(行動)の参考になります。「小さなことでもいい。できるところから」と背中を押してくれます。



初心者でもOK! 「すずめ踊り」に参加しよう

「見るだけでなく、踊ってみたい!」という方におすすめです。集まったみんなで仙台すずめ踊りを練習して、「仙台・青葉まつり」に飛び入り参加しましょう。日時:5月19日(土)宵まつり 集合場所:つなぎ横丁(市民広場脇)「飛び入り受付」まで詳しくは、青葉まつりのホームページをご覧ください。HP <http://www.aoba-matsuri.com> 問い合わせ 仙台・青葉まつり協賛会 TEL 022-223-8441 FAX 022-223-4941



歴史ある緑の小径が賑わう 新寺こみち市

名木・巨木のほか、史跡や貴重な文化財も数多く残る若林区新寺小路で毎月28日に開催される市です。東北の農家や漁家、手づくり作家を応援するとともに、新しい時代に向けた地域づくりのヒントを得ることを目的としています。ヤギとのふれあいや、おはなし会もあり、子連れでも楽しめます。日程:毎月28日 10:00～15:00(雨天開催、早期終了の場合あり) 会場:新寺五丁目公園～新寺小路緑道 主催:新寺こみち市実行委員会 HP <http://www.komichiichi.com/>



ネットいじめ対策は 地域で育む道徳教育から

市民ライター 溝井貴久

地域情報モラルネットワークは、ネット社会における道徳・倫理・セキュリティの大切さを伝えています。活動は仙台を中心に宮城県全域で、地域の小中高・大学、地域住民、保護者、子ども達が対象です。宮城県では唯一、情報セキュリティ向上に取り組む情報処理推進機構(IPA)と共催の、インターネット安全教室を年2回程度開催しています。会員向けには学習会を開催し、市民を交えたシンポジウムも開催しています。

活動のきっかけは2003年、東北工業大学で情報系の科目を専門に教鞭をとる小島さんに、地域の保護者たちから子どもの教育について相談があった事でした。情報モラルの欠如を背景に起こるネットいじめから、子どもが安全安心に暮せる社会をつくるという理念に賛同した仲間と共に、団体を設立し2009年に法人化しました。

「子どもの健やかな成長には、地域・学校・家庭が協力して子どもの道徳心を育む仕組みづくりが大切」と小島さん。いじめ問題について3者間で情報共有する仕組みや、教師の業務負担を減らし、子どもと向き合う時間を確保する仕組みづくりなどをそれぞれに提案しています。

技術は使う人間の心一つで活用が変わります。地域・学校・家庭が連携して、子ども達の道徳観や倫理観を育むことが大切だと感じました。



▲地域・学校・家庭が協力してネットいじめ解決に取り組む。

■連絡先
NPO法人地域情報モラルネットワーク
理事長 小島正美(こじま まさみ)
TEL 022-243-2409
Mail info@neuis.org